

研究発表会開催通知

(昭和 62 年 10 月 15 日～11 月 30 日)

研究会	日	時	会場	備考
設計自動化	10月15日(木)	9:15～17:00	機械振興会館	前号参照
文書処理と ヒューマンインタフェース	11月5日(木)	13:30～17:00	同上	下記参照
グラフィクスとCAD	11月6日(金)	13:30～17:00	同上	同上
情報学基礎	11月9日(月)	13:00～17:00	同上	同上
計算機アーキテクチャ	11月12日(木) 11月13日(金)	9:30～17:00 9:30～17:00	東北大	同上
記号処理	11月13日(金)	13:00～17:00	東大	同上
データベース・システム	11月16日(月)	10:30～16:30	筑波 研究センター	同上
情報システム	11月17日(火)	13:00～17:30	慶大	同上
知識工学と人工知能	11月18日(水)	14:00～17:00	東大・駒場	同上
コンピュータビジョン	11月19日(木)	13:30～16:30	KDD 上福岡研	同上
自然言語処理	11月20日(金)	9:00～17:00	福岡大	同上
ソフトウェア工学	11月25日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第 15 回 文書処理とヒューマンインタフェース研究会 (発表件数: 4 件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 首藤正道)

日時 昭和 62 年 11 月 5 日 (木) 午後 1 時半～5 時
会場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室
 (東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷一東京タワー線東京タワー, 渋谷一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車. Tel. 03 (434) 8211)

- 議題**
- (1) High speed string correction methods
 田中栄一, 古河原敦子 (宇都宮大・工)
 [概要] 階層化ファイルとハッシュ法を使って, 綴りの誤りを高速に訂正する方法について報告する.
 - (2) 発想の計算機支援
 西尾信彦 (東大・理)
 [概要] アイディアの断片から新しい概念を構成する過程を支援する環境を考察し, そのためのデータ構造を提唱する.
 - (3) ユーザ適応形応用ソフト構成法
 岡崎哲夫, 佐藤宏人 (NTT 通研)
 [概要] ユーザの使い方に合わせた操作手順, 画面表示, 機能の選択を可能とする応用ソフト構成法について考察する.
 - (4) 左右対称形キーボードの操作性評価
 白鳥嘉勇 (NTT 通研)

〔概要〕 3種の左右対称形キーボードを試作し、その習熟特性を現用形キーボードの場合と比較検討した。

◆ 第30回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 中嶋正之, 真名垣昌夫, 守屋慎次)

日時 昭和62年11月6日(金) 午後1時半~5時

会場 機械振興会館 地下3階 1号室(所在地は前記参照)

議題 (1) 情報の図化インタフェース 鎌田富久, 川合 慧(東大・理)

〔概要〕 さまざまなデータをさまざまな図で表現するための道具として、図化モジュールを生成するシステムを考案した。

(2) キャプテン画像入力装置における画像編集

近藤隆志, 森 和宏(東芝)

〔概要〕 キャプテン画像入力装置における編集機能について、自然なカラー画像の少色化、切貼りを中心に述べる。

(3) 誤差拡散法を用いた限定色画像の平滑化

中嶋正之, 安居院猛(東工大), 太田 稔(凸版印刷)

〔概要〕 良好な視覚特性を与える誤差拡散法を用いた限定色表示画像の平滑化アルゴリズムを提案する。

(4) 3次スプライン関数上のサンプル点配置の一手法

原田耕一, 中前栄一郎(広大・工)

〔概要〕 3次スプライン関数上のサンプル点配置手法をディスプレイ空間への写像という見地から捉え理論的解析を行った。

◆ 第7回 情報学基礎研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 富永英義, 中村史朗)

日時 昭和62年11月9日(月) 午後1時~5時

会場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)

議題 (1) 日本語聖書コンコーダンスシステム JACOB の開発

石塚英弘, 井上薫孝(情報大)

〔概要〕 画面左に聖書本文, 右に脚注および重要語の説明などが出力される対話型コンコーダンスシステムを開発した。

(2) 統計データと分類の知識表現とその応用

佐藤英人(阪大・社会経済研)

〔概要〕 広い対象世界を扱う統計の記述に必要なデータ概念・抽象化概念と、その自然言語応答への応用を紹介する。

(3) マニュアルの分析・評価手法—ドキュメンテーションエンジニアリングの一手法の提案—

千村浩靖, 加藤 浩, 佐藤隆博(日電C&C研)

〔概要〕 マニュアルの品質向上を目的としたマニュアル内容構成の分析・評価法について、基本的考え方・具体的方法を提案する。

(4) 電子化辞書の構成について 内田裕士(EDR)

〔概要〕 自然言語処理用の電子化辞書における単語辞書と概念辞書の関係について述べ、またその利用法についても言及する。

◆ 第 60 回 計算機アーキテクチャ研究会 (発表件数: 16件)

(主査: 田中英彦, 幹事: 喜連川優, 長谷川隆三)

日 時 昭和 62 年 11 月 12 日 (木) 午前 9 時半 ~ 5 時

11 月 13 日 (金) 午前 9 時半 ~ 午後 5 時

会 場 東北大学工学部 電子情報系館 311 号室
 (仙台市荒巻字青葉, JR: 仙台下車, 仙台市営バス: (日立ファミリセンタ前より) 理学部経由工学部行き (43-3), 工学部経由三丁目行 (43-4), 工学部経由長町 (営) 行き (43-5) で工学部下車約 15 分. Tel. 0222 (22) 1800 ex. 4270)

議 題 11 月 12 日 (木) 9: 30~11: 40 (3 件)

(1) 音声認識における DP マッチングのためのハードウェア・アルゴリズム
 に関する検討 前場隆史, 辰巳昭治 (豊橋技科大)

[概要] パターンマッチングによる音声認識において有用な手法である DP
 マッチングのためのハードウェア・アルゴリズムを提案する.

(2) データベースおよび知識ベースを対象とした並列処理システム: SMASH
 清木 康, 加藤和彦, 益田隆司 (筑波大・電子情報)

[概要] データベースおよび知識ベースのような大量データを対象とする多様な
 分野に柔軟に適応可能な並列処理システム SMASH の基本構成と実現方
 式について述べる.

(3) データフロー計算機における状態依存処理のモデルと評価
 武末 勝 (NTT 通研)

[概要] 並行プロセスの順序付け機構によるストリーム処理の効率的実現モデル
 とその評価結果を示す.

13: 30~15: 30 (3 件)

(4) Smalltalk-80 専用マシン Hobbes
 飯塚 裕, 木下康幸, 武内春夫 (沖電気)

[概要] Hobbes のハードウェア構成, バー・チャルマシンの実装, 得られたベン
 チマークテスト結果について述べる.

(5) 並列論理型言語の Dialog H への実装について
 濱崎陽一, 岡田義邦, 田島裕昭, 鈴木基史 (電総研)

[概要] 光バスを用いたマルチプロセッサシステム Dialog の構成と OS 及び
 論理型言語の実装について述べる.

(6) A Performance Analysis of Multi-processor Systems with Copied Memory
 Modules

Li Shi Wen, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)

[概要] メモリ共有型のマルチプロセッサシステムにおいて, 同一内容のメモリ
 を複数個持つシステムについて解析的に検討する.

15: 40~17: 00 (2 件)

(7) マイクロプログラマブルプロセッサ "Proteus" のアーキテクチャ
 朝長宜央, 村田浩樹, 山田 剛, 小原啓義 (早大・理工)

[概要] 現在, われわれが開発中のプロセッサ "Proteus" のアーキテクチャの

概要について解説する.

- (8) NC モデルに基づく MIMD 型並列計算機のための高性能プロセッサ

朴 泰佑, 野村茂弘, 天野英晴 (慶大・電気)

〔概要〕 プロセッサ内のコンテキスト切り替え及びプロセス間通信をハードウェアにより高速に行う, 科学技術用 MIMD 並列計算機のための高機能プロセッサを提案する.

11月13日(金) 9:30~11:40 (3件)

- (9) 階層化モデルに基づく汎用離散系シミュレーション用並列処理アーキテクチャ

工藤知宏, 天野英晴 (慶大・電気)

〔概要〕 問題のモジュール性及び階層性を利用してプロセッサごとに時刻及びイベント管理を行う, 汎用の離散系シミュレーションモデル及びアーキテクチャを提案する.

- (10) 並列回路シミュレーションマシンのプロトタイプ

小池誠彦, 中田登志之, 田辺記生, 小野塚裕美, 黒部恒夫 (日電)

〔概要〕 回路シミュレーションを並列に実行するアルゴリズム並びにマシンプロトタイプについて紹介する.

- (11) 配線処理用 CAD エンジンについて

鈴木 敬, 井出進博, 大附辰夫 (早大・理工)

〔概要〕 われわれが研究を進めている 2 種類の配線処理用 CAD エンジンについて報告する.

13:30~15:30 (3件)

- (12) 空間分割型並列処理による光線追跡法の高速化に関する一検討

窪田英幸, 小林広明, 中村維男, 重井芳治 (東北大・工)

〔概要〕 光線追跡法の高速化を目的としたオブジェクト空間分割型並列処理システムにおける, 部分空間の負荷分散法とそれに基づく前処理の並列化について述べる.

- (13) マルチプロセッサシステム MUGEN のソフトウェア構成

高木康志, 堀口 進, 川添良幸, 重井芳治 (東北大・工)

〔概要〕 本報告では, クラスタ方式を採用した試作マルチプロセッサシステム MUGEN のソフトウェア構成について, オペレーティングシステムを中心に述べる.

- (14) FP グラフリダクションマシンにおけるグラフ構造の分散配置方法

池部 優, 高井昌彰, 伊波通晴, 中村維男 (東北大・工)

〔概要〕 FP グラフリダクションマシンのハードウェアシミュレータの概要について述べ, メモリへのグラフ構造の分散配置方法を検討する.

15:40~17:00 (2件)

- (15) FP グラフリダクションマシンのシミュレーションによる性能評価

伊波通晴, 高井昌彰, 池部 優, 中村維男 (東北大・工)

〔概要〕 FP グラフリダクションマシンにおいて, パイプラインのセグメント数, 関数のマッピング法及びタスクの処理法等を変化させた場合の処理能力をシミュレーションにより評価する.

- (16) ネットワーク仮想記憶方式によるマルチプロセッサシステムの試作について
陣崎 明, 樋口昌宏, 八星礼豊(富士通)
〔概要〕 分散した計算機の仮想記憶を光リングネットワークによって結合し, 全体を単一の共有仮想記憶として構成するネットワーク仮想記憶方式に基づくマルチプロセッサシステム試作の概要を述べる.

IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

* 今回の研究会は電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会)との共催で行われます.

◆ 第45回 記号処理研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日時 昭和62年11月13日(金) 午後1時~5時

会場 東京大学大型計算機センター 講習室

〔東京都文京区弥生 2-11-16, 地下鉄: 千代田線根津下車, 徒歩7分.

Tel. 03 (812) 2111〕

議題 ゲーム特集

- (1) ゲームにおける知識処理と探索の融合

鳥居 稔, 小谷善行(農工大・工)

〔概要〕 将棋における局面の戦略的知識等を, $\alpha\beta$ 手続きを始めとする探索理論と関連付けて扱う方式を検討する.

- (2) 知識指向型碁プログラム GO. 1 の戦略 実近憲昭(電総研)

〔概要〕 断片的な碁の知識を典型的状況(ケース)に分類し, ケースごとの処理結果を統合する着手決定の概要を述べる.

- (3) 候補手記述言語“拡張 Gopal”を用いた囲碁プログラムの試作

大西 諭, 井上克郎, 鳥居宏次(阪大・基礎工)

〔概要〕 既存の Gopal に一連の手順を記述する機能を付加した拡張 Gopal を作成し, それを囲碁プログラムに用いた.

- (4) カルキュレーションをプレーするプログラム 花沢正純(東海大・理)

〔概要〕 非常に熟練を要するカード遊びであるカルキュレーションを約85%の成功率で解くシステムを作成した.

◆ 第62回 データベース・システム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 大里博志, 鈴木健司)

日時 昭和62年11月16日(月) 午前10時半~午後4時半

会場 工技院 筑波研究センター 共用講堂中会議室(電総研横)

〔茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, JR: 東京(八重洲南口)より高速バス(約1時間)並木大橋下車徒歩15分, JR 常磐線: 荒川沖下車(上野より約1時間), 東口より関東鉄道バス(約15分)並木二丁目下車徒歩7分, 西口よりタクシー約10分. Tel. 0298 (54) 5479〕

議題 10:30~12:30 (3件)

- (1) 分散データベースのデッドロック解決方式の考察

小林哲二(NTT 通研)

〔概要〕 分散データベースにロック制御を用いる場合のデッドロック対策とし

て、時刻印を利用する方式を提案する。

(2) 関係データベースの図形型インタフェース言語

高橋淳一 (日本 IBM)

〔概要〕 関係データベースのインタフェース言語として、ER ダイアグラムの直接操作で記述する図形型言語を提案する。

(3) マルチメディア知識ベースシステム・操作言語の基本概念

牧之内顕文, 石川 博 (富士通)

〔概要〕 マルチメディア知識ベースシステムの知識モデル及びそれに基づいた操作言語の基本概念について述べる。

13:30~16:30 (3件)

(4) パーソナル・マルチメディアデータベースの試作

中埜善夫, 檜垣伸俊 (松下電器)

〔概要〕 OA を目的とした、文音・画像・図形の複合したマルチメディアデータを蓄積できるデータベースについて述べる。

(5) パーソナル・マルチメディアデータベースを用いた文書ファイルシステム

三村義祐, 中埜善夫, 今井良彦, 榎木好明 (松下電器)

〔概要〕 マルチメディア文書の登録・検索を行うパーソナル指向の文書ファイルシステムの概要について述べる。

(6) 抽象概念を解消したデータベース設計方法論

南雲道朋 (富士通)

〔概要〕 EDP のシステム化に受け入れにくいエンティティなどの抽象概念を解消する DB 設計方法論の構成法を提案する。

◆ 第17回 情報システム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 浦 昭二, 幹事: 岩丸良明, 橋本茂司, 松谷泰行)

日時 昭和62年11月17日 (火) 午後1時~5時半

会場 慶応大学 日吉図書館 AVホール (地下1階)

〔横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉下車 (東口) 徒歩3分.

Tel. 044 (63) 1141〕

議題 特集: DSS

(1) 企業情報システムと DSS

三森定道 (日立 シ研)

〔概要〕 DSS を企業の PLAN, DO, SEE 情報サイクルの一講成要素としてとらえ, その必要機能, 情報処理技術を論じる。

(2) マーケティングデータベースシステム (MDBS)

蜂谷勝朗 (マックスファクター)

〔概要〕 検索要件の変更が容易な知識ベースを採用した3次元 DB 内蔵の DSS-MML. 鳥瞰と細部の交互表示を実現。

(3) 鉄鋼業経営における意思決定支援システム

小林寛治 (新日鐵)

〔概要〕 鉄鋼業における意思決定構造と意思決定支援システム適用による業務改善事例を説明する。

(4) 決定を支援する

小橋康章 (ハイウェイ開発)

〔概要〕 デシジョン・エイド (意思決定過程誘導支援システム) の事例を紹介

し、その認知科学的な諸問題を議論する。

- (5) 情報の構造化に基づく意思決定支援—Research Decision Support System
の提案と実験— 戸田光彦, 平石邦彦 (富士通), 黒川伊保子 (富士通 SSL)
〔概要〕 既存の意思決定支援システムで欠けている情報の構造化機能を研究開発
の支援の例で提案し, 実験結果を報告する。
- (6) DSS におけるモデル管理—ペトリネットによるモデルの統合的利用の
支援— 平石邦彦 (富士通)
〔概要〕 DSS においてモデルを統合的に利用するために, ペトリネットでその
入出力の結合関係を記述し, 管理を行った。

◆ 第 55 回 知識工学と人工知能研究会 (発表件数: 3 件)

(主査: 堂下修司, 幹事: 西田豊明, 米澤明憲)

- 日 時 昭和 62 年 11 月 18 日 (水) 午後 2 時～5 時
- 会 場 東京大学工学部 境界領域研究施設 13 号館 3 階 講堂
〔東京都目黒区駒場 4-6-1, 小田急線: 東北沢下車徒歩 7 分, 井の頭線: 駒場東
大前下車 (一番前の出口) 徒歩 7, 8 分. Tel. 03 (485) 3111 ex. 309〕
- 議 題 (1) 基本原理からの説明機能を持つプログラム合成システム
松元貴志, 上原邦昭, 豊田順一 (阪大・産研)
〔概要〕 目標言語・対象領域等に関する複数の基本原理を用いて, プログラム合
成システムの行った合成の根拠を説明する方法を提案する。
- (2) プロジェクト管理支援エキスパートシステム “NINA”
平 雅明, 杉尾俊之, 椎野 努 (沖電気 総シ研)
〔概要〕 プロジェクトの管理モデルの概念を用いるプロジェクト管理支援エキス
パートシステムについて述べる。
- (3) 知識の対称化による帰納 奥村登貴子, 牧野武則 (EDR)
〔概要〕 自然言語処理において, 概念間の依存関係を, データから帰納させる
実験。

◆ 第 51 回 コンピュータビジョン研究会 (発表件数: 4 件)

(主査: 白井良明, 幹事: 松山隆司, 吉田真澄)

- 日 時 昭和 62 年 11 月 19 日 (木) 午後 1 時半～4 時半
- 会 場 KDD 上福岡研究所 大会議室
〔埼玉県上福岡市大原 2-1-15, 東武東上線: 上福岡 (東口) 下車, 徒歩 10 分.
Tel. 0492 (66) 7423〕
- 議 題 (1) Hough 変換に関する最近の研究動向 興水大和 (中京大・教養)
〔概要〕 Hough 変換の効率化アルゴリズムや変換領域における特徴抽出法, 応
用についての最近の研究動向をサーベイする。
- (2) Gradient 型超高速 Hough 変換アルゴリズム
沼田宗敏 (ロゼフテクノロジー), 興水大和 (中京大・教養)
〔概要〕 Gradient の傾きを利用した従来の Hough 変換に比べ, 約 100 倍速い
直線群検出方法を紹介する。

- (3) Hough 変換平面における図形の凸包抽出アルゴリズム
村上和人, 長谷川錦治 (名市工研), 興水大和 (中京大・教養)
〔概要〕 X-Y 平面上に与えられた点列の凸包を, それら点列の Hough 変換平面上で求めるアルゴリズムを提案する.
- (4) 視覚イメージ空間を利用したイメージ画像検索方法について
藤田健二 (マツダ)
〔概要〕 6次元視覚イメージ空間を利用したあいまい性を含む形容詞からイメージ画像への検索方法について述べる.
- (5) 見学: KDD 上福岡研究所 画像通信研究室の紹介

◆ 第64回 自然言語処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 日高 達)

日時 昭和62年11月20日 (金) 午前9時~午後5時
会場 福岡大学 セミナーハウス
〔福岡市中央区六本松 3-4-20, JR: 博多から西鉄バス 201, 204, 7, 8 番系統で 30分 (又は, 天神コア前から 13, 204 番系統で 15分) 護国神社前下車, 南に入り徒歩4分. Tel. 092 (751) 8141〕

議題 9:00~11:55 (5件)

- (1) キーワード自動抽出と重要度評価 木本晴夫 (NTT 通研)
〔概要〕 個々の新聞記事のキーワードの自動抽出と重要度評価を言語処理・知識処理・統計処理によって行う方法を提案する.
- (2) 語義を考慮した単語間の階層構造の抽出について
鶴丸弘昭, 兵頭竜二, 松崎 功 (長大・工), 日高 達 (九大・工)
吉田 将 (九工大・情工)
〔概要〕 国語辞典に含まれている単語の語義 (語義番号, 語義文など) を考慮した単語間の階層構造の抽出について述べる.
- (3) 語義文からの動詞の階層関係の抽出
富浦洋一, 日高 達 (九大・工), 吉田 将 (九工大・情工)
〔概要〕 国語辞典から格スロットの対応までを考慮した動詞の階層関係の抽出について述べる.
- (4) 上位/下位関係ソーラス IMIMAPI の作成 (I)
田中穂積 (東工大・工), 仁科喜久子 (埼玉大)
〔概要〕 機械翻訳を含む高度な言語理解システムを作成するために必要となる上位/下位関係ソーラス IMIMAPI の設計方針を述べる.
- (5) 上位/下位関係ソーラス IMIMAPI の作成 (II)
田中穂積 (東工大・工), 仁科喜久子 (埼玉大)
〔概要〕 (I)で示した設計方針の下に作成した上位/下位関係ソーラスの概略を示す.

13:00~17:00 (6件)

- (6) 日本語文書リーダ後処理の実現 西野文人, 高尾哲康 (富士通研)

〔概要〕 単語照合検査, 単語間接続検査とヒューリスティックスを用いた日本語
文書リーダー後処理の方式と問題点を述べる.

- (7) 文脈解析システムのための概念記述法とそれを用いた推論手法について
井佐原均, 橋田浩一, 石崎 俊, 内田ユリ子 (電総研)

〔概要〕 機械翻訳システム CONTRAST で用いられている概念表現および概念
変換による推論法について述べる.

- (8) 対話文における誤入力訂正処理 柿ヶ原康二, 相沢輝昭 (ATR)

〔概要〕 自立語列から付属語を推定することにより発話文を求める方法について
述べる.

- (9) 素性構造の単一化手法の効率 加藤 進, 小暮 潔 (ATR)

〔概要〕 自然言語処理で使用される素性構造の単一化アルゴリズムの効率につい
て検討を行ったので報告する.

- (10) 端末間の対話通訳システム

飯田 仁, 小暮 潔, 野垣内出, 前田広幸, 有田英一 (ATR)

〔概要〕 端末間の日本語と英語の発話を, 逐次, 計算機が通訳するシステムの構
成について報告する.

- (11) 要約支援システム COGITO—文書の構造解析—

小松英二, 北 研二, 加藤安彦, 安原 宏 (沖電気)

〔概要〕 要約の前処理として, 照応及び文同士の関係を解析することによる, 文
書構造の決定方法について発表する.

宿泊設備 福岡大学セミナーハウスには宿泊設備 (シングル 3,600 円, ツイン 2,700 円)
があります. 宿泊希望の方は福大の首藤先生にご連絡ください.

連絡先: ☎815 福岡市城南区七隈 8-19-1

福岡大学工学部電子工学科 首藤公昭

Tel. 092 (871) 6631 (内) 6382

◆ 第 57 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 花田收悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

日 時 昭和 62 年 11 月 25 日 (水) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 6 階 65 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) データモデルを導入した仕様化技法 大槻 繁 (日立)

〔概要〕 データベースを中心としたシステム開発技法として, E-R モデルと
ジャクソンモデルを融合した技法を提案する.

- (2) 自然言語仕様からモジュール構造を抽出する手法について

佐伯元司 (東工大・工), 蓬萊尚幸, 榎本 肇 (富士通)

〔概要〕 自然言語仕様に出現している動詞の型をもとに形式的仕様のためのモ
ジュール構造を得る手法について考察する.

- (3) ソフトウェア部品知的検索システム

石川和彦, 蓮田広保, 松村一夫 (東芝)

〔概要〕 ユーザが要求する部品の機能を要素機能群に展開し, 候補部品群をその
組み合わせ方とともに提示する知的な検索ツール.

- (4) Static Detection of Garbage Cells and an Experimental LISP System

井上克郎, 川瀬 淳, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)

〔概要〕 関数定義から, 実行時に発生しうる不要セルの生成を検出し, 実行時に即時回収を行う LISP システムを試作した.

◆ マイクロコンピュータ研究会

第 47 回 研究会を下記のとおり開催いたします. なお, 詳細は次号 (11 月号) に掲載されます.

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 昭和 62 年 12 月 1 日 (火) 午前 10 時半～午後 5 時 |
| 会 場 | 九工大・工・情報工学 |
| 議 題 | 1. 80286 をプロセッサエレメントとするメモリ共有型並列処理システムの開発
大島龍博, 都志見圭一, 有田五次郎 (九工大・工) |
| | 2. 可変構造並列計算機の構想
村上和彰, 福田 晃, 末吉敏則, 富田真治 (九大・総理工) |
| | 3. 衝突回避へのトランスピュータの応用 元村直行 (安川電機) |
| | 4. 真空ロボットコントローラとオンラインプログラミングシステム
横山和彦, 野林繁美, 脇迫 仁 (安川電機) |
| | 5. 視覚依存型移動ロボットの開発
木戸 淳, 郷原幸一, 井手浩一, 石川聖二, 加藤清史 (九工大・工) |
| | 6. プロセス制御用マイコンのテスト記述言語 竹中一起 (住友金属) |

◆ ソフトウェア工学研究会

62 年度最後の研究会を下記のとおり開催いたします. 発表ご希望の方は 11 月 20 日 (金) までに, 発表申込用紙に発表題目と 50 字以内の概要を記入して, 学会事務局研究会担当までお申込みください.

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 和昭 63 年 2 月 4 日 (木)～5 日 (金) |
| 会 場 | 信州大学工学部 情報工学科 |
| 主 題 | ソフトウェア工学全般にわたり, 特に, 知的プログラミング環境, AI ソフトウェア開発技術, ソフトウェア再利用等に関する発表を歓迎します. |

◆ オペレーティング・システム研究会

第 37 回 研究会を下記のとおり開催いたします. なお, 詳細は次号 (11 月号) に掲載いたします.

- | | |
|-----|---|
| 日 時 | 昭和 62 年 12 月 4 日 (金) 午前 10 時半～午後 4 時半 |
| 会 場 | 機械振興会館 6 階 65 号室 |
| 議 題 | (1) 複数のオペレーティングシステム環境とターゲットマシンリンクシステムの開発
三上 理, 八木橋信一 (日電)
真鍋和久, 須堯一志 (日本電気技術情報システム開発) |
| | (2) 富士通のマイクロ・メインフレーム・リンク・アーキテクチャ
須田智紀 (富士通) |
| | (3) 高セキュリティ化を目的とした多重仮想ファイルシステム管理方式
西門 隆, 近藤 恵, 福岡和彦 (日立) |
| | (4) 分散オペレーティング・システム GEM について
南山智之 (東洋通信機) |
| | (5) Experience with Chrysalis/Butterfly
大上貴英 (三菱電機) |

昭和 62 年度研究賞の表彰

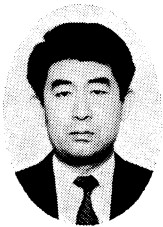
研究賞は、本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られるものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会員とします。年齢制限はありません。

この賞は研究会活動活性化の施策に基づき、本年度から新設され、去る 9 月 28 日に北海道大学で開催された第 35 回全国大会開会式の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が下記の 9 君に授与されました。

本賞の選考は、表彰規程、研究賞受賞候補者選定手続および研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長 猪瀬 博）が選定委員会となって行います。今年度は表彰対象の 9 研究会（18 研究会を奇数組と偶数組に分け、本年度は前者、来年度は後者の隔年表彰）の主査から推薦された計 9 編の優れた論文の中から、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第 312 回理事会（昭和 62 年 7 月）の承認をえて決定されたものです。

● 助詞「の」が結ぶ名詞の意味関係の subcategorization

[86-NL-53 (1986. 1. 31)]



島津 明君（正会員）
昭和 23 年生。昭和 46
年九州大学理学部数学科
卒業。昭和 48 年同大学
院修士課程修了。同年電
電公社電気通信研究所入
所。現在日本電信電話

(株)基礎研究所勤務。言語理解の研究に従
事。電子情報通信学会、計量国語学会、
ACM, ACL 各会員。

〔推薦理由〕

名詞連接句の意味解析は、科学技術文書の機械翻訳等で重要な課題でありながら、意味的結合関係が複雑かつ多様で、これまで成功した解析モデルは提案されていない。本研究は、単語をその意味素性間の関係で結合した素性発火モデルを提案したものである。このモデル上で助詞「の」で接続した名詞句の意味解析を行う方法を示し、「名詞の名詞」の英訳における前置詞の選択法について述べている。統語情報にたよっていた従来の解析法にくらべ精密なモデルになっており、発展性の期待できる研究である。

● 認知地図の計算機モデル

[87-AI-50 (1987. 1. 16)]



中西 博君（正会員）
昭和 36 年生。昭和 60
年大阪大学基礎工学部情
報工学科卒業。昭和 62
年同大学院基礎工学研究
科修士課程修了。同年日
本デジタルイクイップ

メント(株)入社。現在、日本 DEC ソフト
ウェア部システム第二課に勤務。ソフトウ
ェアの開発およびコンサルテーションに従
事。「認識し行動する脳——脳科学と認知
科学——」（第 2 章分担、東京大学出版会、
1988 年春刊行予定）。日本認知科学会、人
工知能学会各会員。

〔推薦理由〕

認知科学の分野においては、認知地図は経験や出来ごとに対応した画像イメージであり、計算機上での空間認知のシミュレーションは困難だとされてきた。本発表は認知地図を記号としてモデル化することを提案している。すなわち、人間の想起するイメージは記号で忠実に表現可能な抽象化されたものと捉え得ると仮定し、認知地図の概念モデルを構成している。

本研究は未だ完成した研究ではないが、認知地図を例として開いた世界を扱い得る可能性を示した興味深いものであり、可能性を評価できるものである。よって受賞に値する。

● エンドユーザ向け製品の“使い易さ”の定量的評価

{84-SW-38 (1984. 9. 26)}



菊田 泰代君 (正会員)

昭和 24 年生. 昭和 47 年お茶の水女子大学理学部物理学科卒業. 昭和 49 年同大学院 修士課程修了. 昭和 49 年富士通(株)入社. 以来システムエン

ジニアとして, TSS・第四世代言語を担当. 現在 SE テクニカルセンター課長代理として, 知識情報処理製品の企画に従事.

〔推薦理由〕

ソフトウェア製品の“使い易さ”について客観的な評価手法を与えている。使い易さに影響を与える要因を 4 レベル（親しみ易さ・効率・理解・システムの強さ）に体系づけ、さらに要因間の相関や総合評価の重み付け係数をアンケートにより裏付けた評価手法を提案している。

多様なエンドユーザ意見について、設計時の評価基準や評価方法などに応用できると共に、使い易さという定量化しにくいテーマに一步踏み込んだ斬新な試みであることから研究賞に値する。

● Prolog 指向 RISC プロセッサ “Pegasus”

{86-CA-63 (1986. 11. 20)}



瀬尾 和男君 (正会員)

昭和 31 年生. 昭和 54 年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業. 昭和 56 年同大学院 修士課程修了. 同年三菱電機(株)入社. 以来, 同社中央研究

所において, 計算機アーキテクチャ, 特に VLSI を指向したアーキテクチャの研究に従事. ACM, 電子情報通信学会各会員.

〔推薦理由〕

本論文は、現在研究のさかんな Prolog マシン用の専用プロセッサを提案したもので、最初に LSI 版のアーキテクチャを示したものとして意義深い、特に、スタック操作、タグ操作、レジスタの退避・復旧等を効率良く処理できる命令セットを備えており、これらによって高い性能を達成している。他に与える影響も大きく、研究賞を与えるにふさわしい研究である。

● 能動的視覚システムによる 3 次元環境の認識

[86-CV-45 (1986. 11. 19)]



山本 正信君 (正会員)
昭和 26 年生. 昭和 48 年九州工業大学工学部制御工学科卒業. 昭和 50 年東京工業大学大学院理工学研究科制御工学専攻修士課程修了. 同年電子

技術総合研究所入所. 現在同所制御部視覚システム研究室主任研究官. 移動ロボット, マンマシンシステムの安全化などの研究を経て, コンピュータビジョン, 特に, 動画像処理の研究に従事. 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 日本ロボット学会, AVIRG 各会員.

[推薦理由]

3 次元環境の認識では 3 次元情報の入力が必要な課題である. 両眼立体視もそのための有力な手段ではあるが, 一般に, 左右画像間の対応付けは容易ではない. 本発表では, 視点を移動させることにより得られる動画像を用い, この動画像から生成される特別な 2 次元合成画像を解析することにより, 対応付けの困難さを回避しつつ, 容易に 3 次元情報が得られる手法を示した. この方法は, 多大な計算量を要するといった問題点もあるが, 今後の 3 次元環境認識研究に対して, 極めて有益な 3 次元情報を提供するものであると判断される.

● テレマティックサービスのための統合アーキテクチャとプロトコル

[LAN/マルチメディアの応用と分散処理シンポジウム (1984. 10. 17)]



中尾 康二君 (正会員)
昭和 29 年生. 昭和 55 年早稲田大学教育学部数学科卒業. 昭和 55 年国際電信電話(株)入社. 現在, 同社上福岡研究所テレマティック研究室に

おいて, テレマティック通信 (DTAM), ビデオテックス, ネットワーク・アーキテクチャ, 情報ネットワークセキュリティの研究・開発に従事. 電子情報通信学会, 画像電子学会各会員.

[推薦理由]

本研究は, 既存のテレマティックサービスの通信機能を体系的にとらえるとともに, 将来の多様なテレマティックサービスを実現するための統合テレマティック通信アーキテクチャとプロトコルを OSI に基づき提案している.

現在, CCITT では, 本提案を骨格として“ドキュメント転送, アクセスと操作に関する標準: DTAM”の検討が進められている. GIV Fax, テレテックス, ビデオテックスなどのテレマティックサービスを統合的にとらえ, 体系的な手法の基盤を本研究は提供した.

● スポットライトの表示

[グラフィックスと CAD シンポジウム (1985. 12. 4)]



西田 友是君 (正会員)
昭和 24 年生. 昭和 48 年 3 月広島大学大学院工学科修士課程 (電気工学専攻) 修了. 同年 4 月マツダ(株)に入社し, 新交通システムの開発に従

事. 昭和 54 年 4 月福山大学工学部電子電気工学科専任講師, 昭和 59 年同助教授. 現在, コンピュータ・グラフィックスに関する研究に従事. 工学博士. 共著「3 次元コンピュータグラフィックス」(昭晃堂). 電気学会会員.

〔推薦理由〕

本論文は、従来のシェーディングモデルが面の性質（反射、屈折等）に主眼を置いているのに対して、空間中の微粒子の反射、吸収特性を考慮することにより、照明空間の広がり表現を可能にしたものである。本論文により、スタジオや舞台の照明効果（スポットライトの光跡）、霧中のヘッドライトや投光器の光跡とその照明効果が表現できるようになったことは、コンピュータ・グラフィックスの研究分野において極めて有意義であると考え、本論文が本研究会の第1回研究賞に値する論文であると結論する。

● 一般化した **unfold/fold** 技法を用いた **Prolog** プログラムの変換合成
〔86-SF-17 (1986. 7. 3)〕



堀内 謙二君（正会員）
昭和 32 年生。昭和 56 年北海道大学工学部電気工学科卒業。昭和 58 年北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻修了。同年三菱電機(株)入社。

中央研究所勤務。データベース、論理プログラムの検証、変換合成、解析診断、修正の研究に従事。

〔推薦理由〕

Prolog プログラムの変換合成は、わかりやすく書いたプログラムを効率よく実行することができるので、その効果・効用は大きい。これまでも玉木・佐藤らによって、これらのプログラム変換やその等価性保存の条件などが研究されてきたが、本論文では、それらの研究内容を一歩進め、より一般化され、制限の少ないプログラムの変換合成手法を提示している。さらに、その手法によって等価性証明が容易になることをも示している。理論的にも、実用的にもすぐれた研究であり、研究賞受賞に値するものである。

● **Code Generator Generator**
〔85-PL-3 (1985. 12. 13)〕



三橋二彩子君（正会員）
昭和 36 年生。昭和 58 年津田塾大学学芸学部数学科卒業。同年、日本電気(株)入社。以来、マイクロコンピュータ用ソフトウェア、主に言語処理

系の研究開発に従事。現在、マイクロコンピュータ・ソフトウェア開発本部支援システム開発部勤務。

〔推薦理由〕

本研究報告は、多機種に対してコンパイラを効率良く生成するために、コンパイラに組み込むコードジェネレータ部を自動的に生成するツールの開発に関するものである。これは、中間言語をテーブル駆動方式で解析してコードを生成する手法に基づいて実現されている。Graham-Glanville の方式に対し、LR パーサを再帰下降式パーサに変更し、中間木に属性を付加するといった改良を行っている。最適化に対しても考慮が払われ、実用的なコンパイラを作る場面で実際に使用し、この方式についての検証をした点は、高く評価されるものである。

第 34 回 全国大会学術奨励賞の表彰

第 34 回全国大会学術奨励賞は、去る 9 月 28 日～30 日に北海道大学工学部・教養部で開催された第 35 回全国大会の席上、会長から下記 10 君に授与されました。

本賞は今年 3 月開催の第 34 回全国大会（於日本大学理工学部）の発表論文を対象に、学術奨励賞委員会（委員長 浦副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 1,111 件中推薦のあった 69 名の候補者の中から 28 名を選び、さらに慎重審議の結果、10 名が受賞候補者として推薦され、第 312 回理事会（昭和 62 年 7 月）の承認をえて決定されたものです。

多次元リニアハッシュファイルデータベースにおける流暢な結合のアルゴリズム (2B-1)

遠山 元道君 (正会員)

昭和 32 年生。昭和 54 年慶應義塾大学工学部卒業。昭和 59 年同学大学院工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在、同学理工学部助手。データベースシステムに関する研究に従事。ACM, IEEE 各会員。

分散処理システム Agora-I の構成 (4B-1)

田胡 和哉君 (正会員)

昭和 31 年生。昭和 56 年筑波大学第 3 学群情報学類卒業。昭和 61 年同学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。同年同学電子・情報工学系助手。オペレーティング・システムの設計方式に興味を持つ。昭和 60 年本学会論文賞受賞。ACM, 計測自動制御学会各会員。

Tokio によるパイプライン処理の記述とその支援 (2F-2)

藤田 昌宏君 (正会員)

昭和 31 年生。昭和 55 年東京大学工学部電気工学科卒業。昭和 60 年同学大学院情報工学専門課程博士課程修了。工学博士。同年富士通(株)入社。同社川崎研究所システム研究部に勤務、現在に至る。論理回路の設計支援に関する研究に従事。

メディアミックスブックの概要 (3G-2)

原 良憲君 (正会員)

昭和 33 年生。昭和 56 年東京大学工学部電子工学科卒業。昭和 58 年同学大学院電気工学専門課程修士課程修了。同年日本電気(株)入社。現在同社 C&C 情報研究所に所属。マルチメディアデータベース、情報検索方式とその応用に関する研究に従事。

帰納的推論を用いた表グラフ変換規則の獲得 (4K-9)

大野 和彦君 (正会員)

昭和 35 年生。昭和 58 年東京大学工学部航空工学科卒業。昭和 60 年同学大学院情報工学専門課程修士課程修了。同年日本電気(株)入社。現在同社 C&C 情報研究所に所属。機械学習、情報サービスの研究に従事。人工知能学会会員。

AI ワークステーション ELIS の 1 チップ CPULSI (1P-1)

渡邊 和文君 (正会員)

昭和 29 年生。昭和 52 年山梨大学工学部電子工学科卒業。昭和 54 年同学大学院工学研究科修士課程電子工学専攻修了。同年日本電信電話公社入社。現在 NTT ヒューマンインタフェース研究所言語メディア研

究部に所属。記号処理向き計算機の研究開発に従事。

論理型言語を用いたソフトウェア開発方法 (4R-2)

星野 寛君 (正会員)

昭和33年生。昭和56年京都大学工学部情報工学科卒業。昭和59年同学大学院修士課程修了。昭和62年同学大学院博士課程退学。現在、同学工学部情報工学科研究生。ソフトウェア工学，論理型プログラミング，オペレーティングシステムの研究に従事。

インクリメンタルコンパイルによるCプログラム開発環境 (2V-4)

梅村 恭司君 (正会員)

昭和34年生。昭和56年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和58年同学大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社入社。現在、NTT基礎研究所にて記号処理系の研究に従事。高速記号処理の可能性を求め、多種多様な計算機の上で、記号処理方式を検討中。ACM会員。

英日機械翻訳システムにおける構文解析について (6W-3)

野上 宏康君 (正会員)

昭和34年生。昭和58年九州大学大学院総合理工学研究科修士課程情報システム学専攻修了。同年(株)東芝入社。同社総合研究所情報システム研究所に勤務、現在に至る。機械翻訳システムの研究開発に従事。

Smalltalk-80によるOSIプログラムのパフォーマンス解析に関する一考察 (7Z-7)

長谷川 亨君 (正会員)

昭和33年生。昭和57年京都大学工学部情報工学科卒業。昭和59年同学大学院修士課程修了。同年、国際電信電話(株)入社、現在に至る。オブジェクト指向言語を用いたプロトタイピング、通信プロトコルの形式記述に関する研究に従事。電子情報通信学会会員。

シンポジウムの開催のお知らせ

下記のシンポジウムがそれぞれ開催されます。申込締切りが近づきましたので、参加希望者は早急にお申込みください。

なお、会場はいずれも機械振興会館大ホール(地下2階)です。プログラムおよび参加申込書は前号本欄にあります。

シンポジウム名	期 日	申 込 締 切
コンピュータシステム	11月5日(木)～6日(金)	10月20日(火)
AI技術の適用による新情報通信サービスの展望と課題	11月9日(月)	10月23日(金)
マイクロコンピュータの現状と将来	11月16日(月)～17日(火)	10月30日(金)
人工知能システムの枠組み	11月19日(木)～20日(金)	10月30日(金)

情報処理学会第36回全国大会論文募集要領

開催期日 昭和63年3月16日(水)～18日(金)
会場 慶應義塾大学日吉校舎(横浜市港北区日吉3-14-1)
応募資格 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 62年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は前号巻末に添付してあります。(電気, 電子情報通信, 照明, テレビジョン各学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします。)

論文該当分野

1. 基礎理論および数値処理
 - a. 計算理論, b. アルゴリズム, c. ソフトウェア基礎, d. 数値計算, e. 数式処理
 - f. その他
2. アーキテクチャおよびハードウェア
3. オペレーティングシステム
4. データベースシステム
5. ネットワークおよび分散処理
6. プログラミング言語とその処理系
 - a. 手続き型言語, b. 関数型言語, c. オブジェクト指向型言語, d. 論理型言語
 - e. その他の言語, f. 処理系実現手法
 - g. その他
7. ソフトウェア工学
 - a. 要求定義技法, b. 設計技法, c. プログラミング技法(エディタ等), d. テスト技法(デバッグ等), e. 支援環境, f. 開発・保守・運用, g. 品質・信頼性, h. 仕様作成・プログラム合成, i. その他
8. 自然言語処理
 - a. 解析および生成, b. 機械翻訳, c. 自然言語理解, d. 辞書・データ分析, e. テキスト処理, f. その他
9. 知識情報処理
 - a. 知識表現, b. 知識利用, c. 推論方式, d. 知識ベース, e. 問題解決, f. 知識プログラミング, g. エキスパートシステム, h. 知的インタフェース, i. 学習
 - j. その他
10. パターン処理
 - a. 文字認識, b. 音声, c. 図面処理
 - d. 画像処理, e. 画像データベース, f. 画像処理エキスパートシステム, g. ロボット, h. 画像理解, i. 画像計測, j. その他
11. デザインオートメーションおよびコンピュータグラフィクス
 - a. CAD, b. CAE, c. CAM, d. グラフィクス, e. シミュレーション, f. その他
12. オフィスオートメーション
13. 応用システム
 - a. 情報システム, b. ニューメディア
 - c. 教育への応用, d. 芸術への応用, e. 産業への応用, f. 社会への応用, g. 情報処理教育, h. シミュレーション, i. その他

申込料 1件につき7,000円です。ただし, 論文集原稿を提出する際に納入してください。なお, 講演申込を取消されても納入していただきます。

申込方法 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒を同封のうえ, 62年10月27日(火)までに(必着), 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として1人1件とします。ただし, やむを得ず2件以上になる場合には, 講演参加費は1件ますごとに7,000円ずつを申しあげます(ただし, 論文集は1冊です)。なお, 連続発表希望の場合は, その旨を必ず明記してください。

論文提出 所定の原稿用紙を12月中旬に送付しますので, 昭和63年1月25日(月)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとし, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご注意ください。なお, 大会発表の全論文をJICSTのJOISに入力することとなっております。所定の用紙に標題, 発表者名とアブストラクト(150字以内)を記述して, 論文と一緒に提出していただきます。

表彰 優秀な論文を登壇発表した新進の会員(学部卒業後10年未満またはこれと同等の者)には, 学術奨励賞を贈呈し, 次期大会時に表彰いたします。

申込先 〒106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 第36回全国大会係
Tel. 03 (505) 0505

「アドバンスト・データベース・システム」 シンポジウム開催について

標記シンポジウムに関して多数の論文をご応募いただきありがとうございました。審査の結果、下記要領にてシンポジウムを開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

本年度は、基調講演・招待講演に加えて、特に二つのサーベイセッション（5件）を設け、データベースの新しい動向について要約を行います。さらに、恒例のパネルセッションではこの新しい動向に対する討論を行います。

日 時 昭和62年12月3日(木)～4日(金)
場 所 機械振興会館大ホール（地下2階）
参加費 会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 1,500円
(論文集のみ 3,000円, 送料 400円)
申込締切 昭和62年11月20日(金) (定員150名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 (12月3日(木))

開会挨拶 (9:00～9:10) 上林 弥彦 (九大)
基調講演 (9:10～10:40) 司会 石井 義興 (ソフトウェア・エージ)
「情報検索の歴史: 回顧と展望」 坂本 徹朗 (紀伊國屋書店)
——休憩 (10:40～10:50)——

Session 1 高度応用 (10:50～12:00) 座長 大里 博志 (富士通)
・民族学研究用画像データベースにおけるユーザインタフェースの視覚化
黒川 雅人, 橋原 秀晴, 洪 政国 (日本アイ・ビー・エム)
杉田 繁治 (国立民族学博物館)
・交通計画支援システムの開発 野末 尚次, 石井 昭子, 柴田 徹 (鉄道総研)
——昼 食 (12:00～13:00)——

Session 2 サーベイ1 (13:00～15:00) 座長 溝口 徹夫 (三菱)
・High Performance Database の動向 上林 弥彦 (九大)
・データベースマシンの動向 清木 康 (筑波大)
・非ビジネスデータ処理用データベースの動向 増永 良文 (情報大)
——休憩 (15:00～15:15)——

Session 3 基礎 (15:15～17:00) 座長 増永 良文 (情報大)
・データベース哲学 穂鷹 良介 (筑波大)
・グラフ・データ・モデルとその視覚的ユーザインタフェース 國井 秀子 (リコー)
・2進木マシンによる関係演算 松尾 賢二, 高橋 義造 (徳島大)
中嶋 典子 (日本アイ・ビー・エム)

第2日 (12月4日(金))

招待講演 (9:00～10:30) 司会 鈴木 健司 (NTT)
「統計のデータベースと知識ベース——非定型業務データの共用化——」
佐藤 英人 (阪大・社会経済研究所)
——休憩 (10:30～10:40)——

Session 4 サurvey 2 (10:40~12:00)

- ・演繹データベースの動向
- ・非正規形データベースの動向

座長 小林 功武 (産能大)
 勝野 裕文 (NTT)
 三浦 孝夫 (三井造船)

——昼 食 (12:00~13:00)——

Session 5 知識処理 (13:00~14:45)

- ・知識処理システム KAUS による分子構造推定システム

高須 淳宏, 阿久津達也, 大須賀節雄 (東大)

- ・演繹データベースにおけるコンパイル手法の問い合わせ集合処理への応用

坂間 千秋, 伊藤 英則 (ICOT)

- ・継承機構を持つデータベースによる業務手順の管理

金崎 克己 (リコー)

——休 憩 (14:45~15:00)——

Session 6 パネル討論 (15:00~17:00)

「次世代データベース」

司会 有澤 博 (横浜国大)

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム

参加申込書

昭和 62 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,000 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

(注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可)。

「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 62 年 12 月 10 日 (木), 11 日 (金) 9:00~18:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)

申込締切 昭和 62 年 11 月 30 日 (月) (定員 150 名になり次第締切らせていただきます。)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 12 月 10 日 (木)

開 会 オープニングセッション (9:00~9:30) 司会 中嶋 正之 (東工大)

・グラフィクス研究の新しい方向 川合 慧 (東大)

セッション 1 モデリング 1 (9:30~10:30) 司会 井越 昌紀 (機振協)

・対話型 CG モデル: FUSION/MODELER

村上 公一, 林 一司, 太田 雅明 (富士通研)

・部品レイアウト機能を持たせた視覚的な形状モデリング

関根 弘隆, 寺嶋 廣克 (日電)

——休憩 (10:30~10:45)——

セッション 2 モデリング 2 (10:45~11:45) 司会 真名垣昌夫 (日電)

・CG のための樹木の成長モデルについて

金丸 直義 (東北大), 千葉 則茂 (岩手大), 斎藤 伸自 (東北大)

・二次元スペースモデル・プロトタイプを試作

大沢 晃, 川崎 敏治, 岩本 哲夫 (日立)

——昼 食 (11:45~13:00)——

招待講演 1 (13:00~14:15) 司会 中嶋 正之 (東北大)

・コンピュータ図学からステレオグラフィクスへ

田嶋 太郎 (中部大)

——休憩 (14:15~14:25)——

セッション 3 曲面の生成・処理 (14:25~15:55) 司会 山口富士夫 (早大)

・直線と平面の整数係数方程式近似について

杉原 厚吉 (東大)

・曲面パッチの接続と干渉について

穂坂 衛 (電機大)

・拡張 2 次曲面パッチ —パラメータの影響のない幾何学的な曲面定義法—

斎藤 隆文, 高橋時市郎 (NTT)

——休憩 (15:55~16:10)——

セッション 4 図形・形状処理 (16:10~17:10) 司会 杉原 厚吉 (東大)

・ 4×4 行列式法による完全 4 次元図形・形状処理

山口富士夫 (早大)

・信号処理プロセッサを用いた 3 次元図形処理の高速化

篠原 克也 (日電)

第2日 12月11日(金)

- セッション 5 ユーザインタフェース (9:00~10:30)** 司会 守屋 慎次(電機大)
・ユーザインタフェースにおける対話記述の実現 今宮 淳美, 関村 勉(山梨大)
・ユーザインタフェース管理システムでの応用知識作成ツールの一実現
今宮 淳美, 高橋 伸明(山梨大)
・ユーザインタフェース・マネージメント・システムの最近の研究動向
大西 亮一(三菱総研)

——休憩 (10:30~10:45)——

- セッション 6 アルゴリズム (10:45~12:15)** 司会 奥平 雅士(NTT)
・マスク処理によるカラー画像の滑線化アルゴリズム
安居院 猛, 木見尻秀子, 中嶋 正之(東工大)
・輪郭線探索による画像切り出し方式 的場ひろし, 平林扶佐子, 笠原 裕(日電)
・頭部X線 CT からの脳腫瘍部位自動抽出とその3次元表示
鶴野 玲治(近畿大), 長江 貞彦(大阪府立大)

——昼食 (12:15~13:15)——

- 招待講演 2 (13:15~14:30)** 司会 川合 慧(東大)
・インテリジェント CAD システムの現状と将来動向 吉川 弘之(東大)

——休憩 (14:30~14:40)——

- 記念講演 (14:40~15:55)** 司会 川合 慧(東大)
・スポットライトの表示法 —グラフィクスと CAD 研究賞受賞論文—
光と影 —リアリズムの探求— 中前栄八郎, 西田 友是(広島大)

——休憩 (15:55~16:05)——

- セッション 7 CG システム (16:05~17:35)** 司会 矢嶋 章夫(日立)
・マルチスクリーン・グラフィクス MCMS システムの並列図形処理
松本 忍, 荻野 博幸, 平石 裕実, 矢島 脩三(京大)
・商品コンセプト・デザイン・システム 笠原 裕, 平林扶佐子, 的場ひろし(日電)
・日常に見る文字のシミュレーション
辻合 秀一, 楠田 一夫(近畿大), 長江 貞彦(大阪府立大)

「グラフィクスとCAD」シンポジウム

参加申込書

昭和 62 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

会員名簿 (昭和 62 年版) の予約について

会員名簿の予約申込みは、既報のとおり9月末日までといたしましたが、予約失念の会員もあるようですので、10月20日(火)まで延期します。その後はいよいよ印刷の手配に移りますので、お受けできません。

なお、申込み方法は前号本欄参照ください。

学会誌送本先の住所等の変更届について（お願い）

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（本号末尾に添付）にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。なお、異動の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなります。

「第29回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書（コピーでも可）に記入のうえ、お申し込みください。

本シンポジウムの趣旨から、「情報処理関連分野で多くの経験のある方、またはこれに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある方」の参加を希望します。

記

日 時 1988年1月12日（火）午前10時 受付開始（この日の昼食は用意しません）
午後1時30分 開会
1月14日（木）午後1時 散会

場 所 箱根ホテル小涌園（神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297）Tel. (0460) 2-4111

交 通 路線バス：小田原駅表口〈登山バス〉箱根町行～小涌園前 約40分
箱根湯本駅～小涌園前 約30分
タクシー：小田原駅表口～小涌園前 約30分
箱根湯本駅～小涌園前 約20分

参加費 （予稿集代、宿泊費を含む。カッコ内は非会員参加費）

☆ 大学院学生 23,000円（26,000円）

☆ 大学助手以上

研究所関係者 30,000円（35,000円）

☆ 会社関係者 35,000円（40,000円）

※ 二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1987年11月30日（月）

プログラム 次号本欄に掲載予定

- 注）1. 参加申し込み後、やむを得ず参加を取り消される場合は、12月18日までにお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めません。
2. 会場、宿泊設備の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。
4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

「第29回 プログラミング・シンポジウム」

参加申込書

昭和 62 年 月 日

1. フリガナ
氏名 _____ 男・女
- 所属 _____
- 連絡先(〒) _____
- _____ Tel. _____

2. 参加区分
- | | 会 員 | 非会員 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|
| ☆ 大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ☆ 大学助手以上
研究所関係者 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ☆ 会社関係者 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- 会員番号 _____

※ 参加区分は、該当の□に×を入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。記入のない場合は、会社関係者・非会員として取扱います。

3. 送金・支払方法

a. 当日持参します。

¥ _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 ____月 ____日)

b. 現金書留 c. 郵便振替 (東京 5-83484) d. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通 (No. _____)

請求先 _____

4. 夜の自由討論, ポスタセッション, マイコンデモなどの発表予定の方はお知らせください。また, 興味のある分野もお書きください。今後の参考にします。

- ◇ 夜の自由討論の希望テーマ _____
- ◇ ポスタセッション・マイコンデモの希望 _____
- ◇ 興味のある分野 _____

5. 送付先・問合せ先

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

「自然言語処理技術シンポジウム—自然言語処理の新たな展開をもとめて—」開催のお知らせ

近年、自然言語処理の研究はめざましい高まりを迎え、特に実用レベルの機械翻訳システムの開発が一定の成果を修めつつある。それと同時に大量の統語知識を均質かつ網羅的に格納する辞書の組織的開発や意味処理、文脈処理の導入における、処理の大量化・高度化にともなう問題に直面している。このような時期に当り、これまでの自然言語処理の総括と今後の発展の方向を討論し、あわせて、新しい言語処理技術の解説講演を行います。是非ご参加ください。

詳しいプログラムは追って掲載いたします。

日 時	昭和 63 年 1 月 21 日 (木)~22 日 (金) 9:00~17:00	
場 所	機械振興会館大ホール (地下 2 階)	
参加費	正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円 (テキストのみ 2,500 円, 送料 300 円)	
申込締切	昭和 62 年 12 月 31 日 (定員 150 名になり次第締切ります)	
内 容	基 調 講 演	自然言語処理の展望
	解 説 講 演	(1) 最近の言語理論
		(2) Connectionist Model
		(3) 状況意味論
	招 待 講 演	(1) 比喩理解
		(2) Mental Space
		(3) 文脈理解
パネ ー ル 討 論	(4) 機械辞書の開発	
	(5) 機械翻訳の発展に向けて	
	(6) 音声認識と言語処理	
パネ ー ル 討 論	「自然言語処理における言語理論の役割」	

「自然言語処理技術」シンポジウム

参加申込書

昭和 62 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (2,500 円, 送料 300 円) 冊

○送金方法

_____円を _____月 _____日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 _____ (No. _____)
 請求先 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可)。

「計算機システムのヒューマンインタフェース —モデル・評価・展望—」シンポジウム論文募集

計算機システムが高度化し、利用者層が広がったことによって、計算機システムのヒューマンインタフェースに多大の関心が向けられるようになりました。ヒューマンインタフェースは、いまや製品の成功不成功を左右する要素の一つとなっています。またひいては、よいヒューマンインタフェースとわるいヒューマンインタフェースを見わけるにはどうしたらよいかという問題、いい換えればヒューマンインタフェースの評価技法の問題がクローズアップされることになりました。さらにそのような評価技法の基礎となるべきモデルを明らかにすることの重要性が認識されはじめています。

そこで標記シンポジウムの開催を計画しています。このシンポジウムでは、計算機システムのヒューマンインタフェースについて議論します。特に、その評価技法と、裏づけとなるモデルに注目し、また本学会の会員にとってまだ必ずしもなじみが深くないと思われる認知心理学方面の成果を紹介するチュートリアルを含めます。今後のヒューマンインタフェース（特に文書処理の）はいかにあるべきかを考えます。下記1, 2, 3について論文を公募しますので奮ってご応募ください。

日 時 昭和63年4月13日（水）、14日（木）9:30~17:00

場 所 機械振興会館大ホール（地下2階）

トピックス

1. 5年後の一般向けインタフェース
2. 日本語入力・編集方式の評価尺度
3. その他

（ヒューマンインタフェースのモデル、文書処理のインタフェース、
CAIのヒューマンインタフェース、新しいインタフェースの提案、など）

実施方法

- (1) 発表論文は、公募によるほか研究連絡委員の推薦によるものを含めるかも知れません。
- (2) トピックス1, 2を中心とします。トピックス1は「コンペ方式」とすることを計画しています。
- (3) 応募される場合は、アブストラクト（A4判用紙で3~5枚位）のコピー3部を12月1日（火）までに提出してください。
- (4) 採否の決定は12月18日（金）までに連絡します。
- (5) 本論文は学会の研究会用原稿用紙10枚以内とし、2月29日（月）までに提出願うことになります。

申 込 先 (社)情報処理学会「計算機システムのヒューマンインタフェース」
シンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505

* 参加申し込み等については今後本欄でお知らせいたします。

「コンピュータアーキテクチャ」シンポジウム論文募集

現行汎用コンピュータの性能限界が明らかになりつつある中で、新しいコンピュータアーキテクチャに関する研究・開発は近年ますます盛んとなっております。アーキテクチャに関係する広い分野の研究者や、利用者が一堂に会して各々の立場から研究発表を行い現在の研究動向を把握し、解決すべき問題を明確化するとともに将来のコンピュータ像を模索することは有意義と考えます。このような観点からコンピュータアーキテクチャ研究会では表記のシンポジウムを開催し研究発表ならびにパネル討論を行うことを決定しましたので下記により論文を募集します。

日時 昭和 63 年 5 月 17 日 (火), 18 日 (水) 10:00~17:00
場所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
内容 コンピュータアーキテクチャに関する以下のテーマについて論文を公募し、招待講演やパネル討論をおり混ぜて発表する。完成された研究論文のみでなく、新しい試み、提案、問題提起など種々な性格の論文を歓迎する。

トピックス

- ・並列コンピュータ
- ・相互結合網
- ・ニューロンコンピュータ
- ・スーパーコンピュータ
- ・性能評価
- ・メモリシステム
- ・入出力アーキテクチャ
- ・推論マシン, 知識ベースマシン
- ・データフローマシン
- ・データベースマシン
- ・トランザクションプロセッサ
- ・フォールトトレラントマシン
- ・RISC 等 VLSI 指向アーキテクチャ
- ・各種専用マシン

発表申込締切 昭和 63 年 1 月 29 日 (金)

申込方法 A 4 判 5 枚以内ワープロ書きを 3 部

申込先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会
 「コンピュータアーキテクチャシンポジウム」係 Tel. 03 (505) 0505

採否通知 昭和 63 年 3 月 1 日 (火)

カメラレディ提出期限 4 月 15 日 (本学会研究会原稿用紙 10 枚以内)

* 本シンポジウムに関するお問い合わせは下記にお願いします。
 コンピュータアーキテクチャ研究会幹事 喜連川 優 (東大) Tel. 03 (402) 6231 (内線 2356)

支 部 だ よ り

東 北 支 部 研 究 集 会

期 日 昭和 62 年 11 月 5 日 (木) 13:30~17:00
会 場 岩手大学工学部情報工学科 3 階ゼミナール室
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
発 表 題 目 前号本欄参照
問 合 せ 先 東北大学情報処理教育センター 中尾光之 Tel. 022 (221) 5967

九 州 支 部 情 報 処 理 九 州 シ ン ポ ジ ウ ム

高度自然言語処理に関するシンポジウムを下記により開催します. 多数の方々のご参加を
願います. なお, プログラムは 8 月号, 参加申込書は 9 月号本欄にあります.

日 時 昭和 62 年 11 月 19 日 (木) 9:50~17:00
会 場 公立学校共済組合「福岡リーセントホテル」
(福岡市東区箱崎 2-52-1 東区役所横)
参 加 費 会員 5,000 円 (学生 1,500 円), 一般 7,000 円 (学生 2,500 円)
論文集代 (1,000 円) を含む.
定 員 130 名
連 絡 先 〒 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内
情報処理学会九州支部事務局 Tel. 092 (641) 1101 (内線 0985 (仲田))

中 部 支 部

講 演 会

期 日 昭和 62 年 11 月 11 日 (水) 13:30~15:00
会 場 中部電力(株)本店 2-1 会議室 (名古屋市東区東新町 1)
演 題 OSI の標準化動向と今後の展望 新沢 誠 (三菱電機)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
問 合 せ 先 中部電力(株)情報システム部設備計画課 松澤 崇 Tel. 052 (951) 8211

講 演 会

期 日 昭和 62 年 11 月 30 日 (月) 14:00~16:00
会 場 信州大学工学部 (長野市若里 500)
演 題 ソフトウェアの設計とプログラミングの自動化 松本 正雄 (日電)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません).
問 合 せ 先 信州大学工学部情報工学科 海尻賢二 Tel. 0262 (26) 4101 (内線 3711)

専 門 講 習 会

期 日 昭和 62 年 11 月 18 日 (水), 19 日 (木)
会 場 名古屋市公会堂 (4 階) 第 7 集会室 (名古屋市昭和区鶴舞 1-1-3)

テ ー マ 計測・制御へのコンピュータ適用技術（プログラムは前号本欄参照）
 参 加 費 会員 10,000 円（学生 5,000 円）、一般 15,000 円、定員 120 名
 テキストのみの申込みは受けません。
 問 合 せ 先 〒 464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
 電気学会東海支部 Tel. 052 (781) 2222

中国四国支部専門講習会

期 日 昭和 62 年 11 月 6 日（金） 9：30～17：00
 会 場 NTT 袋町ビル 6 階会議室（広島市中区袋町 6-11）
 テ ー マ ワークステーション・ネットワークの動向とその応用
 参 加 費 会員 8,000 円、学生 4,000 円、非会員 10,000 円
 テキスト代を含む。定員 100 名（定員に達し次第締切ります）。
 懇 親 会 17：30～19：30 会場メイプル 会費 3,500 円
 申 込 方 法 はがきに「講習会申込み」と標記し、①氏名、②所属学会、③勤務先、連絡
 先、④懇親会への出席、欠席、⑤送金額を記入し、下記宛てお申込みください。
 また、同時に参加費を銀行振込または現金書留にてご送金ください。
 広島銀行西条支店 普通 185030 情報処理学会中国四国支部
 申 込 先 〒 724 東広島市西条町下見 広島大学工学部第二類（電気系）内
 情報処理学会中国四国支部 中村庚二
 Tel. 0824 (22) 7111（内線 3443）

プログラム

支部長挨拶（9：00～9：40） 足立 邦彦（NTT 中国）
 総 論（9：40～10：10） 大泉 充郎（東北大名誉教授）
 WS/LAN による分散ネットワーク（10：10～11：10） 宮澤 正幸（NTT 通研）
 ワークステーションとホストコンピュータの連係処理方式（11：10～12：10）
 黒沢 隆（日本アイ・ビー・エム）
 DECnet と DNA——応用事例を含めて——（13：10～14：10） 栗原 章浩（日本 DEC）
 VAN の現状と展望（14：10～15：10） 生田 英機（日電）
 パネル討論会（15：20～17：00） 司会 富田 眞吾（山口大）、パネラ 全講師

関西支部事務局の住居表示の変更について

事務所の住居表示（番地）が下記のとおり変更されました。関西支部管内の会員の方々はお留意ください。

〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8 階

（財）関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2541